

河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略
平成28年度加速化及び推進事業の評価について

1. 河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

少子・高齢化に的確に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への一極集中を是正し、活力ある社会を維持していくため、平成26年(2014年)に「まち・ひと・しごと創生法」が制定されました。これを受け、本市では、国の長期ビジョン及び総合戦略を勘案し、本市人口の現状と将来の展望を提示する「まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」及び地域の実情に応じた5か年の施策の方向を提示し、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環の確立と、その好循環を支える「まち」の活性化を図る「まち・ひと・しごと創生総合戦略」(別添資料)を平成28年2月に策定しました。

2. 平成28年度加速化及び推進事業の評価について

本市では、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の主な取組みのうち、平成28年度に、加速化事業として14の事業(別添評価シートの14事業)を、推進事業として3の事業(別添評価シートの3事業)を実施し、内部評価を行いました。今回の行財政評価委員会においては、市で実施した内部評価に対し、外部の視点で評価をいただきます。

3. 評価の方法

(1) 事前評価(8月10日まで)

事業毎に、評価シートを作成しています。添付資料も参考にしながら事業の概要をご確認下さい。ご確認いただきましたら、可能な範囲で、各シートの下記部分について評価をお願いします。

【委員会評価】①もしくは②を選択下さい。

【評価等に対する意見】事業に関するご意見等をご記入下さい。

委員会評価	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】 有効であった場合は良かった点を、有効と言えない場合は良くなかった点・原因・改善策等をご記入下さい。
	①取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効であった ②取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	

(2) 本評価(8月10日)

行財政評価委員会当日は、各事業について、ご不明な点などご確認いただきます。会議終了後、評価をいただきました評価シートは回収させていただきますので、ご持参いただきますようお願いいたします。

<参考> 評価シートの見方

河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成28年度加速化事業 評価シート①						
事業名	サイクリングマップの活用事業				担当課 環境経済部 農林課	
総合戦略の位置付け	基本目標2 新しいひとの流れをつくる 施策3. 観光交流の振興 「奥河内くろまろの郷」や周辺施設の整備、グリーンツーリズムの推進や観光情報の発信など、本市への外国人観光客をはじめ来訪者の増加と滞在時間の拡大に向けた取組みを推進します。				計画	
※① 実施期間	27年度 ◎ 実施	28年度	29年度	30年度		31年度
計画期間中の実施内容	「人と自転車にやさしいまちづくり」を推進するため、徒歩や自転車で市内を巡りやすいようなコースや休憩スポットなどの情報を提供する。					
5年後の事業効果	都会から短時間で到達できることや自然豊かな土地を強みとして、自転車やウォーキングを楽しむ人が集まるまちとなる。					
平成28年度実施の事業概要	「奥河内サイクリングマップ」活用のために、奥河内くろまろの郷へのレンタサイクル(電動及びスポーツバイク)の整備、サイクルモードライド大阪などサイクリストが集まるイベント等への出展、自転車初心者を対象としたサイクリングを行った。また、体験申込みサイトへ奥河内特集ページを掲載し、PRを行った。			実績額(円) 2,918,287	推進	
担当者評価 ※⑤	【28年度評価】 ◎ 地方創生に効果があった	【28年度の評価内容】 サイクリストの来訪が増加していることから、河内長野市の認知度は向上している。			評価	
評価①地方創生に非常に効果的であった②地方創生に相当程度効果があった③地方創生に効果があった④地方創生に効果がなかった						
改善	【今後の課題・取組みなど】 「自転車によるまちづくり」が、全国的に広まりつつある中でも、サイクリストが繰り返し来訪するよう、河内長野の特色をアピールする取り組みと情報発信を行う。				改善	
※② 平成28年度事業における重要業績評価指標(KPI)	※③ 指標		※④ 指標値	実績値	単位	
	指標①	観光入込客数(年間)	996,000		人	
	指標②	朝市・直売所の売上高(年間)	350	547	百万円	
	指標③	「河内長野市に愛着と誇りを感じている」市民の割合	47.0	39.4	%	
委員会評価	【委員会評価】 下記から選択して下さい。		【評価等に対する意見】 有効であった場合は良かった点を、有効と言えない場合は良くなかった点・原因・改善策等をご記入下さい。			
	①取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効であった ②取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効とは言えない					

- ① 実施期間：総合戦略の計画期間である5年間（平成27年度～31年度）の実施状況を示しています。
- ② 重要業績評価指標（KPI）：平成28年度に実施した事業の進捗状況を検証するために設定した指標を示しています。
- ③ 指標値：平成28年度事業KPIの年度当初における目標値を示しています。
- ④ 実績値：平成28年度事業KPIの年度末における実績値を示しています。
- ⑤ 28年度評価：内部評価として、担当者評価欄下の評価①～④の中から事業担当者が選択した評価を示しています。

河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成28年度加速化事業 評価シート①

事業名	サイクリングマップの活用事業	担当課 環境経済部 農林課
------------	-----------------------	------------------

総合戦略の位置付け	基本目標2 新しいひとの流れをつくる					計画
	施策3. 観光交流の振興 「奥河内くろまるの郷」や周辺施設の整備、グリーンツーリズムの推進や観光情報の発信など、本市への外国人観光客をはじめ来訪者の増加と滞在時間の拡大に向けた取組みを推進します。					
実施期間	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
計画期間中の実施内容	「人と自転車にやさしいまちづくり」を推進するため、徒歩や自転車で市内を巡りやすいようなコースや休憩スポットなどの情報を提供する。					
5年後の事業効果	都会から短時間で到達できることや自然豊かな土地を強みとして、自転車やウォーキングを楽しむ人が集まるまちとなる。					

平成28年度実施の事業概要	「奥河内サイクリングマップ」活用のために、奥河内くろまるの郷へのレンタサイクル(電動及びスポーツバイク)の整備、サイクルモードライド大阪などサイクリストが集まるイベント等への出展、自転車初心者を対象としたサイクリングを行った。また、体験申込みサイトへ奥河内特集ページを掲載し、PRを行った。	実績額(円)	推進
		2,918,287	

担当者評価	【28年度評価】	【28年度の評価内容】	評価
	③地方創生に効果があった	サイクリストの来訪が増加していることから、河内長野市の認知度は向上している。	

評価①地方創生に非常に効果的であった②地方創生に相当程度効果があった③地方創生に効果があった④地方創生に効果がなかった

改善	【今後の課題・取組みなど】 「自転車によるまちづくり」が、全国的に広まりつつある中でも、サイクリストが繰り返し来訪するよう、河内長野の特色をアピールする取組みと情報発信を行う。	改善
-----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------	----

平成28年度事業における重要業績評価指標(KPI)	指標		指標値	実績値	単位
	指標①	観光入込客数(年間)	996,000	集計中	人
指標②	朝市・直売所の売上高(年間)	350	547	百万円	
指標③	「河内長野市に愛着と誇りを感じている」市民の割合	47.0	39.4	%	

委員会評価	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】 有効であった場合は良かった点を、有効と言えない場合は良くなかった点・原因・改善策等をご記入下さい。
	①取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効であった ②取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	

河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成28年度加速化事業 評価シート②

事業名	グリーンツーリズムの構築事業	担当課 環境経済部 農林課
------------	----------------	------------------

総合戦略の位置付け	基本目標2 新しいひとの流れをつくる					計画
	施策3. 観光交流の振興 「奥河内くろまろの郷」や周辺施設の整備、グリーンツーリズムの推進や観光情報の発信など、本市への外国人観光客をはじめ来訪者の増加と滞在時間の拡大に向けた取組みを推進します。					
実施期間	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	◎ 実施	→				
計画期間中の実施内容	奥河内の恵まれた農林空間の多様な活用を促進し、ハイキングや農業体験を農家などの協力を得て推進する方法を検討する。					
5年後の事業効果	奥河内の資源と魅力を活かした農林業体験の場の提供により、交流人口の増加が図られる。					

平成28年度実施の事業概要	平成27年度に整備した収穫体験型だけではなく、田植えや稲刈り、その他の農業体験ができるファーム開業に向けた準備を行い、稲刈りやじゃが芋の植付けなどを実施した。	実績額(円)	推進
		2,045,445	

担当者評価	【28年度評価】	【28年度の評価内容】	評価
	②地方創生に相当程度効果があった	野菜の植付けや田植え・稲刈りなどの農業体験が可能となったことで、来訪者のニーズにあった体験の提供できるようになった。	

評価①地方創生に非常に効果的であった②地方創生に相当程度効果があった③地方創生に効果があった④地方創生に効果がなかった

改善	【今後の課題・取組みなど】 今後は、継続的に実施していくことができるような仕組みづくりや、参加者増加に向けた情報発信を行っていく。	改善
-----------	-----------------------------------------------------------------------------	----

平成28年度事業における重要業績評価指標(KPI)	指標		指標値	実績値	単位
	指標①	観光入込客数(年間)	996,000	集計中	人
	指標②	朝市・直売所の売上高(年間)	350	547	百万円
	指標③	「河内長野市に愛着と誇りを感じている」市民の割合	47.0	39.4	%

委員会評価	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】 有効であった場合は良かった点を、有効と言えない場合は良くなかった点・原因・改善策等をご記入下さい。
	①取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効であった ②取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	

河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成28年度加速化事業 評価シート③

事業名	観光プログラムの開発事業	担当課 環境経済部 農林課
------------	--------------	------------------

総合戦略の位置付け	基本目標2 新しいひとの流れをつくる					計画
	施策3. 観光交流の振興 「奥河内くろまろの郷」や周辺施設の整備、グリーンツーリズムの推進や観光情報の発信など、本市への外国人観光客をはじめ来訪者の増加と滞在時間の拡大に向けた取組みを推進します。					
実施期間	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	◎ 実施	→				
計画期間中の実施内容	奥河内の恵まれた農林空間の多様な活用を促進し、ハイキングや農業体験を農家などの協力を得て推進する方法を検討する。					
5年後の事業効果	奥河内の資源と魅力を活かした農林業体験の場の提供により、交流人口の増加が図られる。					

平成28年度実施の事業概要	奥河内くろまろの郷エリアの府立花の文化園・市立林業総合センター・市立ふるさと歴史学習館および農産物加工所における体験プログラムの構築を行うとともに、遠方からでも、何時でも申し込みができるよう、体験申込みサイトへの登録を行った。また、体験プログラムを集約した冊子の作成を行った。	実績額(円)	推進
		1,214,969	

担当者評価	【28年度評価】	【28年度の評価内容】	評価
	②地方創生に相当程度効果があった	奥河内くろまろの郷エリアを中心とする着地型観光の基礎が構築できた。	

評価①地方創生に非常に効果的であった②地方創生に相当程度効果があった③地方創生に効果があった④地方創生に効果がなかった

改善	【今後の課題・取組みなど】 体験プログラム内容の充実やブラッシュアップを行うとともに、食事や他の観光施設を訪れるプランの提案などができるよう取組みを進めていく。	改善
-----------	--------------------------------------------------------------------------------------------	----

平成28年度事業における重要業績評価指標(KPI)	指標		指標値	実績値	単位
	指標①	観光入込客数(年間)	996,000	集計中	人
	指標②	朝市・直売所の売上高(年間)	350	547	百万円
	指標③	「河内長野市に愛着と誇りを感じている」市民の割合	47.0	39.4	%

委員会評価	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】 有効であった場合は良かった点を、有効と言えない場合は良くなかった点・原因・改善策等をご記入下さい。
	①取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効であった ②取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	

河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成28年度加速化事業 評価シート④

事業名	河内長野産品充実支援事業	担当課 環境経済部 農林課
------------	--------------	------------------

総合戦略の位置付け	基本目標1 安定した雇用を創出する					計画
	施策2. 農林業の振興					
農業を支える多様な人材の育成・確保を図るとともに、営農支援や販路拡大への支援、森林整備や地元河内材の利用促進など農林業の振興を図ります。						
実施期間	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
計画期間中の実施内容	農林業経営者に対し、公的補助施策の活用や事業者とのコーディネート、消費者ニーズへのマッチング等を行い、環境条件や目的などに応じた営農林支援や協業化、6次産業化を支援する。					
5年後の事業効果	6次産業化に取り組む農家の増加を目指し、農家の所得向上や、直売所の出荷量、出荷品目の増加が図られる。					

平成28年度実施の事業概要	市内の6次産業化に取り組む農家に対し、6次産業化支援事業補助金を交付し、各農家の加工能力の向上を図った。 また、消費地への距離が近いことを活かし、収益性や栽培性が良好な作物であるイチジク栽培普及のため、市内イチジク農家に苗木の栽培を委託した。	実績額(円)	推進
		733,473	

担当者評価	【28年度評価】	【28年度の評価内容】	評価
	②地方創生に相当程度効果があった	<ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化支援については、その生産性が向上し、各農家で生産された加工品が直売所等で販売されるなど、所得向上、出荷量増加の点で効果があった。 ・イチジク苗についても、栽培苗を希望農家に配布し、今後の収穫増加が見込まれている。 	

評価①地方創生に非常に効果的であった②地方創生に相当程度効果があった③地方創生に効果があった④地方創生に効果がなかった

改善	【今後の課題・取組みなど】 ・6次産業化の希望を持つ農家に対して、市場ニーズや収益性など様々な観点からアドバイスを行うための、市職員の情報収集能力や分析力の向上が課題。 ・今後も引き続き、6次産業化に取り組む農家やイチジク栽培に取り組む農家数を増やし、市内産農産物のお荷量の増加や付加価値の向上に取り組む。	改善
-----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----

平成28年度事業における重要業績評価指標(KPI)	指標		指標値	実績値	単位
	指標①	観光入込客数(年間)	996,000	集計中	人
	指標②	朝市・直売所の売上高(年間)	350	547	百万円
	指標③	「河内長野市に愛着と誇りを感じている」市民の割合	47.0	39.4	%

委員会評価	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】 有効であった場合は良かった点を、有効と言えない場合は良くなかった点・原因・改善策等をご記入下さい。
	①取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効であった ②取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	

河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成28年度加速化事業 評価シート⑤

事業名	情報発信事業	担当課 環境経済部 農林課
------------	--------	------------------

総合戦略の位置付け	基本目標2 新しいひとの流れをつくる					計画
	施策3. 観光交流の振興 「奥河内くろまろの郷」や周辺施設の整備、グリーンツーリズムの推進や観光情報の発信など、本市への外国人観光客をはじめ来訪者の増加と滞在時間の拡大に向けた取組みを推進します。					
実施期間	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	◎ 実施	→				
計画期間中の実施内容	奥河内の恵まれた農林空間の多様な活用を促進し、ハイキングや農業体験を農家などの協力を得て推進する方法を検討する。					
5年後の事業効果	奥河内の資源と魅力を活かした農林業体験の場の提供により、交流人口の増加が図られる。					

平成28年度実施の事業概要	「奥河内くろまろの郷」と周辺施設を紹介する特集ページを体験申込みサイトへ掲載した。また、奥河内を紹介するプロモーション映像の制作を行った。	実績額(円)	推進
		3,552,612	

担当者評価	【28年度評価】	【28年度の評価内容】 体験プログラム冊子から体験申込みサイトへ誘導することで、特集ページや体験のPRを積極的に行うことができた。	評価
	③地方創生に効果があった		

評価①地方創生に非常に効果的であった②地方創生に相当程度効果があった③地方創生に効果があった④地方創生に効果がなかった

改善	【今後の課題・取組みなど】 体験プログラムに興味のあるターゲットに向けて、「道の駅」のPR効果をうまく利用した情報発信等を行う。	改善
-----------	---------------------------------------------------------------------	----

平成28年度事業における重要業績評価指標(KPI)	指標		指標値	実績値	単位
	指標①	観光入込客数(年間)	996,000	集計中	人
	指標②	朝市・直売所の売上高(年間)	350	547	百万円
	指標③	「河内長野市に愛着と誇りを感じている」市民の割合	47.0	39.4	%

委員会評価	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】 有効であった場合は良かった点を、有効と言えない場合は良くなかった点・原因・改善策等をご記入下さい。
	①取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効であった ②取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	

河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成28年度加速化事業 評価シート⑥

事業名	施設周辺の安全管理に係る防犯カメラ設置事業	担当課 環境経済部 農林課
------------	------------------------------	------------------

総合戦略の位置付け	基本目標2 新しいひとの流れをつくる					計画
	施策3. 観光交流の振興 「奥河内くろまろの郷」や周辺施設の整備、グリーンツーリズムの推進や観光情報の発信など、本市への外国人観光客をはじめ来訪者の増加と滞在時間の拡大に向けた取組みを推進します。					
実施期間	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
計画期間中の実施内容	奥河内くろまろの郷の「道の駅」の登録に向け、さらなる集客効果が見込める施設整備を行う。					
5年後の事業効果	「道の駅 奥河内くろまろの郷」が、多くの人が訪れる施設となっている。					

平成28年度実施の事業概要	地域活性・交流拠点施設の維持管理や犯罪防止及び犯罪発生時に対応するために駐車場内に防犯カメラを設置した。	実績額(円)	推進
		667,440	

担当者評価	【28年度評価】	【28年度の評価内容】 道の駅登録に向けて、利用者の安全・安心を図ることが出来た。	評価
	②地方創生に相当程度効果があった		

評価①地方創生に非常に効果的であった②地方創生に相当程度効果があった③地方創生に効果があった④地方創生に効果がなかった

改善	【今後の課題・取組みなど】 引き続き、設備の保守点検を実施する。	改善
-----------	--------------------------------------------	----

平成28年度事業における重要業績評価指標(KPI)	指標		指標値	実績値	単位
	指標①	観光入込客数(年間)	996,000	集計中	人
	指標②	朝市・直売所の売上高(年間)	350	547	百万円
	指標③	「河内長野市に愛着と誇りを感じている」市民の割合	47.0	39.4	%

委員会評価	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】 有効であった場合は良かった点を、有効と言えない場合は良くなかった点・原因・改善策等をご記入下さい。
	①取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効であった ②取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	

河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成28年度加速化事業 評価シート⑦

事業名	河川活用に向けた整備事業	担当課 環境経済部 農林課
------------	--------------	------------------

総合戦略の位置付け	基本目標2 新しいひとの流れをつくる					計画
	施策3. 観光交流の振興 「奥河内くろまろの郷」や周辺施設の整備、グリーンツーリズムの推進や観光情報の発信など、本市への外国人観光客をはじめ来訪者の増加と滞在時間の拡大に向けた取組みを推進します。					
実施期間	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
計画期間中の実施内容	奥河内くろまろの郷に隣接する石川河川敷や緑地等を活用して、市内外からファミリー層を中心に多くの人が集う仕組みをソフト、ハード両面で構築しエリア全体で楽しめる空間づくりを目指す。					
5年後の事業効果	奥河内くろまろの郷に隣接する石川河川敷や緑地等に、市内外からファミリー層が多く集う。					

平成28年度実施の事業概要	施設前を流れる石川の親水護岸をより安全に利用できるように河床に下りる階段を設置し、この親水施設の利用を管理するために出入口部に門扉等を設置した。 「道の駅」登録に必要な公衆電話設置のための配線を行い、施設内に情報掲示板1基と、周辺道路沿い10箇所に案内看板を設置した。	実績額(円)	推進
		9,555,840	

担当者評価	【28年度評価】	【28年度の評価内容】	評価
	①地方創生に非常に効果的であった	親水護岸の利用がより安全になり、サービス向上に繋がった。 公衆電話の利用が可能となり利便性の向上に繋がった。 周辺道路の案内板により利用者のスムーズな誘導に繋がり、情報掲示板により、利用者にタイムリーな情報を提供することが可能となり、サービス向上に繋がった。	

評価①地方創生に非常に効果的であった②地方創生に相当程度効果があった③地方創生に効果があった④地方創生に効果がなかった

改善	【今後の課題・取組みなど】 引き続き、施設の適正な維持管理を実施する。 利用者にとってタイムリーで有益な情報や近隣施設の魅力的な情報を発信し、更なるサービス向上や来訪者の増加に努め、エリア全体の活性化を図る。	改善
-----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----

平成28年度事業における重要業績評価指標(KPI)	指標		指標値	実績値	単位
	指標①	観光入込客数(年間)	996,000	集計中	人
指標②	朝市・直売所の売上高(年間)	350	547	百万円	
指標③	「河内長野市に愛着と誇りを感じている」市民の割合	47.0	39.4	%	

委員会評価	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】 有効であった場合は良かった点を、有効と言えない場合は良くなかった点・原因・改善策等をご記入下さい。
	①取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効であった ②取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	

河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成28年度加速化事業 評価シート⑧

事業名	森林所有者向けの基礎・販売戦略事業	担当課 環境経済部 農林課
------------	-------------------	------------------

総合戦略の位置付け	基本目標1 安定した雇用を創出する					計画
	施策2. 農林業の振興					
農業を支える多様な人材の育成・確保を図るとともに、営農支援や販路拡大への支援、森林整備や地元河内材の利用促進など農林業の振興を図ります。						
実施期間	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
計画期間中の実施内容	健全な森林を育むために、森林所有者間の調整による施業の集約化を行う。また、事業者とのコーディネート、消費者への情報発信なども行い、利用価値の高い森づくりを多様な人々とともに進める。					
5年後の事業効果	平成29年度から更新する「かわちながの森林プラン」により、環境を重視した森林整備が図られるとともに、森の利用価値があがる。					

平成28年度実施の事業概要	森林所有者としての責任や森林整備の手段、今からすべきこと等について講義を行い、実際に整備された森林を見学していただく林業基礎講座を実施した。また、事例紹介等の林業に係る講義を行い、先進地への視察も行う現代林業戦略講座を実施した。	実績額(円)	推進
		1,242,494	

担当者評価	【28年度評価】	【28年度の評価内容】 講座は全6回実施し、1回あたり約15名参加いただいた。また、毎回実施したアンケートについては満足度の高い回答を多く得ることができ、森林所有者のステップアップに寄与した。	評価
	②地方創生に相当程度効果があった		

評価①地方創生に非常に効果的であった②地方創生に相当程度効果があった③地方創生に効果があった④地方創生に効果がなかった

改善	【今後の課題・取組みなど】 今後も参加者数を維持しながら、満足度の高い講座を実施し、より多くの森林所有者のステップアップを促す。	改善
-----------	----------------------------------------------------------------------------	----

平成28年度事業における重要業績評価指標(KPI)	指標		指標値	実績値	単位
	指標①	観光入込客数(年間)	996,000	集計中	人
	指標②	朝市・直売所の売上高(年間)	350	547	百万円
	指標③	「河内長野市に愛着と誇りを感じている」市民の割合	47.0	39.4	%

委員会評価	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】 有効であった場合は良かった点を、有効と言えない場合は良くなかった点・原因・改善策等をご記入下さい。
	①取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効であった ②取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	

河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成28年度加速化事業 評価シート⑨

事業名	木のある暮らし推進事業	担当課 環境経済部 農林課
------------	-------------	------------------

総合戦略の位置付け	基本目標1 安定した雇用を創出する					計画
	施策2. 農林業の振興 農業を支える多様な人材の育成・確保を図るとともに、営農支援や販路拡大への支援、森林整備や地元河内材の利用促進など農林業の振興を図ります。					
実施期間	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
計画期間中の実施内容	森林の循環利用を推進するため、地元材である「おおさか河内材」の知名度向上、利用促進を図る。					
5年後の事業効果	地元材の利用を通じて森林への関心が向上し、森林所有者の森林整備への意欲が増える。					

平成28年度実施の事業概要	木のある暮らしコンテストを開催し、木育を通じた木のある暮らしの魅力発信及び地元材である「おおさか河内材」の可能性の創出を目指した。	実績額(円)	推進
		775,040	

担当者評価	【28年度評価】	【28年度の評価内容】	評価
	①地方創生に非常に効果的であった	全国から50作品の応募をいただき、おおさか河内材の知名度の向上、可能性の創出に寄与した。また、作品を具現化し、市内施設(あいっく、木根館)での活用も行い、木のある暮らしの魅力発信を行っている。	

評価①地方創生に非常に効果的であった②地方創生に相当程度効果があった③地方創生に効果があった④地方創生に効果がなかった

改善	【今後の課題・取組みなど】 平成29年度はグランプリ作品及び市民が選ぶグランプリ作品について商品化を行い、来年度以降のコンテスト開催も検討する。また、地元林業関係者によって設立予定の「おおさか河内材販売協議会」と連携し地元材の利用促進を目指す。	改善
-----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----

平成28年度事業における重要業績評価指標(KPI)	指標		指標値	実績値	単位
	指標①	観光入込客数(年間)	996,000	集計中	人
	指標②	朝市・直売所の売上高(年間)	350	547	百万円
	指標③	「河内長野市に愛着と誇りを感じている」市民の割合	47.0	39.4	%

委員会評価	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】 有効であった場合は良かった点を、有効と言えない場合は良くなかった点・原因・改善策等をご記入下さい。
	①取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効であった ②取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	

河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成28年度加速化事業 評価シート⑩

事業名	林業基盤整備事業	担当課 環境経済部 農林課
------------	-----------------	------------------

総合戦略の位置付け	基本目標1 安定した雇用を創出する					計画
	施策2. 農林業の振興					
農業を支える多様な人材の育成・確保を図るとともに、営農支援や販路拡大への支援、森林整備や地元河内材の利用促進など農林業の振興を図ります。						
農道を支える多様な人材の育成・確保を図るとともに、営農支援や販路拡大への支援、森林整備や地元河内材の利用促進など農林業の振興を図ります。						
実施期間	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
計画期間中の実施内容	車両通行の安全性向上や山間地域の生活道としての利便性の向上を図る。					
5年後の事業効果	林道千石谷線の舗装区間が全体の57%となり、車両通行の安全性の向上と、利便性の向上が図られる。					

平成28年度実施の事業概要	林道のコンクリート舗装(延長 L=119m) 舗装面積 A=492.5㎡	実績額(円)	推進
		4,256,280	

担当者評価	【28年度評価】	【28年度の評価内容】 水道水源地の森林保全のみならず、観光関連施設の維持管理や文化財資源の保全に大きく寄与した。	評価
	②地方創生に相当程度効果があった		

評価①地方創生に非常に効果的であった②地方創生に相当程度効果があった③地方創生に効果があった④地方創生に効果がなかった

改善	【今後の課題・取組みなど】 引き続き林道整備を実施し、更なる安全性・利便性の向上を図ると共に、水道水源地の森林や文化財資源等の維持管理を行う。	改善
-----------	-----------------------------------------------------------------------------------	----

平成28年度事業における重要業績評価指標(KPI)	指標		指標値	実績値	単位
	指標①	観光入込客数(年間)	996,000	集計中	人
	指標②	朝市・直売所の売上高(年間)	350	547	百万円
	指標③	「河内長野市に愛着と誇りを感じている」市民の割合	47.0	39.4	%

委員会評価	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】 有効であった場合は良かった点を、有効と言えない場合は良くなかった点・原因・改善策等をご記入下さい。
	①取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効であった ②取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	

河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成28年度加速化事業 評価シート⑪

事業名	奥河内商品開発等支援事業	担当課 環境経済部 産業観光課
------------	--------------	--------------------

総合戦略の位置付け	基本目標1 安定した雇用を創出する					計画
	施策2. 農林業の振興					
農業を支える多様な人材の育成・確保を図るとともに、営農支援や販路拡大への支援、森林整備や地元河内材の利用促進など農林業の振興を図ります。						
実施期間	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
計画期間中の実施内容	市産品ブランドを中心とした加工品等の開発と販路拡大を図る。					
5年後の事業効果	産品ブランド認定品をはじめとする市内産品を活用した「おみやげ品」開発と販路拡大が図られる。					

平成28年度実施の事業概要	市内の農業者が生産した農産品を使って、市内の飲食店がアレンジしたメニューを消費者に提供した。市内の農産物と市内の飲食店を市民に知ってもらい、地産地消のきっかけをつかった。飲食店でスタンプを集め、一定数のスタンプを集めれば、賞品が当たる抽選も行った。	実績額(円)	推進
		1,605,898	

担当者評価	【28年度評価】	【28年度の評価内容】	評価
	③地方創生に効果があった	市民が市内農業者、市内飲食店を知るきっかけとなるだけでなく、市内農業者と市内飲食店が直接取引を開始するなどの効果もあった。	

評価①地方創生に非常に効果的であった②地方創生に相当程度効果があった③地方創生に効果があった④地方創生に効果がなかった

改善	【今後の課題・取組みなど】 情報発信に課題を残したため、市広報やSNS等による情報発信だけでなく、メディアに取り上げてもらえるよう、報道提供なども積極的に行う。	改善
-----------	--------------------------------------------------------------------------------------------	----

平成28年度事業における重要業績評価指標 (KPI)	指標		指標値	実績値	単位
	指標①	観光入込客数(年間)	996,000	集計中	人
	指標②	朝市・直売所の売上高(年間)	350	547	百万円
	指標③	「河内長野市に愛着と誇りを感じている」市民の割合	47.0	39.4	%

委員会評価	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】 有効であった場合は良かった点を、有効と言えない場合は良くなかった点・原因・改善策等をご記入下さい。
	①取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効であった ②取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	

河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成28年度加速化事業 評価シート⑫

事業名	事業者訪問・マーケティング支援等	担当課 環境経済部 産業観光課
------------	------------------	--------------------

総合戦略の位置付け	基本目標1 安定した雇用を創出する					計画
	施策1. 地域産業の育成・支援					
	河内長野市産業アクションプランに基づき、企業の経営基盤の強化や販路拡大などの支援を行い商工業の振興を図ります。					
実施期間	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
計画期間中の実施内容	様々な場所において本市産業のプロモーションを行うとともに、市内事業者への販路開拓や事業拡大に向けた意識啓発を行い、ビジネスチャンスの拡大につなげる。					
5年後の事業効果	本市内企業の取引先の増加により売上等の業績アップが図られるとともに、本市内製造業の特徴である下請からの脱却が図られる。					

平成28年度実施の事業概要	事業者の現状を把握し、情報の蓄積を図るとともに、各事業者に応じた事業環境の変化に対応するための、販路開拓・事業領域拡大等の必要性についての認識向上を促進し、Web、商談会、販路拡大の手法、および事業領域の拡大への取り組み方等について周知を図る。また、理解度や意欲に応じたフォローアップも行う。	実績額(円)	推進
		5,486,400	

担当者評価	【28年度評価】	【28年度の評価内容】	評価
	③地方創生に効果があった	中小企業診断士とともに企業訪問を実施し、各事業所の現状及び課題等を把握した。課題解決のために、事業者連携推進、商品開発、WEBサイトの作成やチラシ作成などの支援を実施し、地域産業の活性化に効果があった。	

評価①地方創生に非常に効果的であった②地方創生に相当程度効果があった③地方創生に効果があった④地方創生に効果がなかった

改善	【今後の課題・取組みなど】 平成29年度も企業訪問を実施し、各事業所の現状及び課題等の把握に努める。また、昨年度に訪問した企業への継続的なフォローアップをはじめ、自社でWebサイトやFacebook等を製作・運用できるようになるための指導等を行うなど、新規の販路開拓に向けた支援を実施する。	改善
-----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----

平成28年度事業における重要業績評価指標(KPI)	指標		指標値	実績値	単位
	指標①	観光入込客数(年間)	996,000	集計中	人
	指標②	朝市・直売所の売上高(年間)	350	547	百万円
	指標③	「河内長野市に愛着と誇りを感じている」市民の割合	47.0	39.4	%

委員会評価	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】 有効であった場合は良かった点を、有効と言えない場合は良くなかった点・原因・改善策等をご記入下さい。
	①取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効であった ②取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	

河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成28年度加速化事業 評価シート⑬

事業名	鉄道沿線プロモーション事業	担当課 総合政策部 広報広聴課
------------	---------------	--------------------

総合戦略の位置付け	基本目標2 新しいひとの流れをつくる					計画
	施策1. 都市ブランドの推進					
都市ブランドの推進を通じて、市民の本市への愛着や誇りを育むとともに、市内外に向けて本市の魅力を効果的に発信します。						
実施期間	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
計画期間中の実施内容	来訪者や転入者の増加に向けて、積極的で効果的なプロモーションを実施し、市内外からの認知度及び好感度の向上を図る。					
5年後の事業効果	市外からの関心と憧れを獲得し、転入者数が増加し、転出者数が減少する。					

平成28年度実施の事業概要	市民・事業者・学生等の有志により、まちを愛するネットワーク組織を立ち上げ、様々なプロモーション活動を通じて、市内外からの関心や憧れを喚起し、観光客や移住定住者の増加を図った。(・SNS担当アルバイトの任用、・住宅購入経験者が語る座談会の実施、・各種動画撮影、・かわちながの大好きミーティングの運営、・着ぐるみの活用、・難波駅でのプロモーション、・移住定住ポスター・リーフレットの発行、・PR用ビニール袋及びクリアファイル作成、・フリーペーパー広告掲載、・フェイスブック広告掲載、ケーブルテレビ番組映像の二次利用、・文化財の空撮)	実績額(円)	推進

担当者評価	【28年度評価】	【28年度の評価内容】	評価
	②地方創生に相当程度効果があった	キャラクターやSNSを積極的に活用し、市民等の本市への愛着を醸成し、より多くの協力者を巻き込みながら、市外でのイベント等にも出展して本市の魅力を発信した。	

評価①地方創生に非常に効果的であった②地方創生に相当程度効果があった③地方創生に効果があった④地方創生に効果がなかった

改善	【今後の課題・取組みなど】 市の政策としては、市民や職員等の市への愛着や誇りを醸成し、まちを愛するネットワークを構築することに時間を費やすよりも、報道機関等を活用し、市外へ向けて効率的なプロモーション活動を行うことのほうに、優先度が高まってきているため、平成29年度においては、庁内連携による戦略的な広報活動やメディア対策を重点的に取り組んでいる。	改善
-----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----

平成28年度事業における重要業績評価指標(KPI)	指標		指標値	実績値	単位
	指標①	観光入込客数(年間)	996,000	集計中	人
	指標②	朝市・直売所の売上高(年間)	350	547	百万円
	指標③	「河内長野市に愛着と誇りを感じている」市民の割合	47.0	39.4	%

委員会評価	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】 有効であった場合は良かった点を、有効と言えない場合は良くなかった点・原因・改善策等をご記入下さい。
	①取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効であった ②取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	

河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成28年度加速化事業 評価シート⑭

事業名	「丘の拠点」(南花台)創生事業	担当課 総合政策部 政策企画課
------------	-----------------	--------------------

総合戦略の位置付け	基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する					計画
	施策5. 地域で支え合える環境づくり みんなが支え合う地域づくりをめざして、高齢者等の見守り活動の推進、スマートエイジング・シティの推進、地域コミュニティ活性化への支援など地域で支え合える環境づくりを推進します。					
実施期間	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	◎ 実施	→				
計画期間中の実施内容	南花台において、「健康寿命の延伸」「元気な住民の生きがいにつながる活躍の場づくり」につながる事業をし、地域住民がいきいきと住み続けられるまちの仕組みを構築する。					
5年後の事業効果	地域住民の「健康寿命の延伸」と、「元気な住民の生きがいにつながる活躍の場づくり」が図られる。					

平成28年度実施の事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・提案事業総合企画調整 ・「総合研究会」「事業別会議」「地域ワークショップ」運営 ・健康コミュニティ構築のための多世代健康プログラム開発・企画・実施・効果検証 ・地域課題解決につながるソーシャルビジネスの構築研究及び実施 ・地域情報発信コンテンツ開発・運営補助・効果検証 ・活動の見える化を目的とした、地域活動拠点づくりの企画・整備・運営補助等 ・南花台西小学校跡地を活用して新たに設置する看護専門学校について、地域との連携機能を持つ施設とするための整備誘導 	実績額(円)	推進
		39,613,827	

担当者評価	【28年度評価】	【28年度の評価内容】	評価
	①地方創生に非常に効果的であった	様々な事業を同時多発的に実施し、相互に連携を図ることで、相乗的な事業実施効果が得られた。また、商店会の立上げや看護専門学校の誘致にもつながった。	

評価①地方創生に非常に効果的であった②地方創生に相当程度効果があった③地方創生に効果があった④地方創生に効果がなかった

改善	【今後の課題・取組みなど】 コノミヤテラスの地域による自立運営体制の構築と、担い手の人材育成に取り組む。また、健康スタッフ・サポーターによる健康づくりの取組み充実、南花台の周辺地域との地域間連携の創出を図る。	改善

平成28年度事業における重要業績評価指標(KPI)	指標		指標値	実績値	単位
	指標①	地域を担う人材の発掘	30	74	人
	指標②	まちづくりをサポートする人材	30	271	人
	指標③	ソーシャルビジネス創出(分野)件数	1	4	件

委員会評価	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】 有効であった場合は良かった点を、有効と言えない場合は良くなかった点・原因・改善策等をご記入下さい。
	①取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効であった ②取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	

河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成28年度推進事業 評価シート①

事業名	産品ブランド拡大推進事業	担当課 環境経済部 産業観光課
------------	--------------	--------------------

総合戦略の位置付け	基本目標1 安定した雇用を創出する					計画
	施策2. 農林業の振興 農業を支える多様な人材の育成・確保を図るとともに、営農支援や販路拡大への支援、森林整備や地元河内材の利用促進など農林業の振興を図ります。					
実施期間	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
計画期間中の実施内容	農林産品や加工品のブランド認定を行い、プロモーションを行うとともに農林商工連携によりブランド化を推進する。					
5年後の事業効果	ブランド認定品の販路や生産量が拡大し、ブランド化により農林産品の付加価値の向上が図られる。					

平成28年度実施の事業概要	認知度向上のため、ブランドプロモーションを実施しながら、認定品の販売促進のための商業事業者との連携を支援した。認定品数が増加するよう、審査体制の整備を行い、ブランド認定のメリットを周知した。	実績額(円)	推進
		1,347,968	

担当者評価	【28年度評価】	【28年度の評価内容】	評価
	③地方創生に効果があった	平成28年度にブランド名称の変更を行ったため、ブランドPRに注力した。ブランド名称の変更後、ブランド申請への問い合わせ等が増加しており、一定の効果がみられた。	

評価①地方創生に非常に効果的であった②地方創生に相当程度効果があった③地方創生に効果があった④地方創生に効果がなかった

改善	【今後の課題・取組みなど】 平成29年度に実施する河内長野市ブランド化推進計画の改訂に伴い、本事業の課題である認知度の向上、認定品数の増加などの課題解決のための方法を検討し、推進計画に盛り込んでいく。	改善
-----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----

平成28年度事業における重要業績評価指標(KPI)	指標		指標値	実績値	単位
	指標①	観光入込客数(年間)	996,000	集計中	人
	指標②	観光案内所利用者数(年間)	7,000	6,622	人

委員会評価	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】 有効であった場合は良かった点を、有効と言えない場合は良かった点・原因・改善策等をご記入下さい。
	①取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効であった ②取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	

河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成28年度推進事業 評価シート②

事業名	商店街活性化事業	担当課 環境経済部 産業観光課
------------	----------	--------------------

総合戦略の位置付け	基本目標1 安定した雇用を創出する					計画
	施策1. 地域産業の育成・支援					
河内長野市産業アクションプランに基づき、企業の経営基盤の強化や販路拡大などの支援を行い商工業の振興を図ります。						
実施期間	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
計画期間中の実施内容	抑止効果の高い防犯カメラの設置を行う自治会に対し、設置に係る補助を実施する。また、商店街等に対して、防犯カメラの設置を支援する。					
5年後の事業効果	抑止効果の高い防犯カメラを設置することにより、市設置の防犯カメラが増加し、市全体の防犯力が強化される。					

平成28年度実施の事業概要	千代田西商店会区域への防犯カメラの設置に対する補助金を交付した。	実績額(円)	推進
		1,000,000	

担当者評価	【28年度評価】	【28年度の評価内容】	評価
	③地方創生に効果があった	千代田西商店会区域に防犯カメラを設置することで、千代田西商店会区域の街頭犯罪、万引き等を未然に防止した。商店会区域での買い物等がより安心、安全に行われ、商店街活性化に繋がった。	

評価①地方創生に非常に効果的であった②地方創生に相当程度効果があった③地方創生に効果があった④地方創生に効果がなかった

改善	【今後の課題・取組みなど】 今後、防犯カメラの設置要望があった場合、必要性等の協議を行い、対応する。	改善
-----------	--------------------------------------------------------------	----

平成28年度事業における重要業績評価指標(KPI)	指標		指標値	実績値	単位
	指標①	観光入込客数(年間)	996,000	集計中	人
	指標②	観光案内所利用者数(年間)	7,000	6,622	人

委員会評価	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】 有効であった場合は良かった点を、有効と言えない場合は良くなかった点・原因・改善策等をご記入下さい。
	①取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効であった ②取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	

河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成28年度推進事業 評価シート③

事業名	女性の活躍サポート支援事業	担当課 環境経済部 産業観光課
------------	----------------------	--------------------

総合戦略の位置付け	基本目標1 安定した雇用を創出する					計画
	施策3. 多様な就労環境の創出					
若者や女性、高齢者、障がい者などの、多様な就労ニーズに対応するため、職業能力の向上や就労機会の確保、就労支援を推進します。						
実施期間	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
		◎ 実施	→			
計画期間中の実施内容	子育てをしながら就労を希望していたり、起業に意欲のある女性に対し、マザーズハローワーク等、関係機関との連携やセミナー等の開催を検討する。					
5年後の事業効果	女性の起業、就労が進み、企業の労働力確保や女性の自立が図られる。					

平成28年度実施の事業概要	結婚や子育て、介護など様々な理由で離職した女性や、よりよい就労環境でもっと活躍したいと考える女性を応援するため、セミナーや講座、キャリア相談を実施し、再就職やスキルアップに繋げる女性就労支援事業を実施した。	実績額(円)	推進
	【女性就労支援事業】 ・女性の働き方応援セミナー(1日) ・女性再就職支援講座(5日間) (就職に必要な知識やビジネスマナー3日間・パソコンスキル2日間、希望者のみ就労体験) ・キャリアカウンセラーによる相談会(全9回)	929,580	

担当者評価	【28年度評価】	【28年度の評価内容】	評価
	③地方創生に効果があった	連続した講座を受けることで就職に必要な知識と技術の習得、さらにキャリア相談を併せて受けることにより、就労への弊害となる問題の早期解決と就労意欲の向上が図られ、就職等に繋がるケースが多くみられた。	

評価①地方創生に非常に効果的であった②地方創生に相当程度効果があつた③地方創生に効果があつた④地方創生に効果がなかつた

改善	【今後の課題・取組みなど】	改善
	連続講座により就職に必要な知識や技術を習得された受講者が、キャリア相談を受けることにより、積極的に活動され就職等に結びついている。 平成29年度は、平成28年度実施したアンケートを基に講座内容等を見直し、同じ内容(セミナー講座、就労体験、相談会)で前期・後期と実施回数を増やし開催することで、更なる女性の活躍を支援していく。	

平成28年度事業における重要業績評価指標(KPI)	指標		指標値	実績値	単位
	指標①	観光入込客数(年間)	996,000	集計中	人
	指標②	観光案内所利用者数(年間)	7,000	6,622	人

委員会評価	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】 有効であった場合は良かった点を、有効と言えない場合は良くなかつた点・原因・改善策等をご記入下さい。
	①取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効であつた ②取組事業が、総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	